

2016年版

ジェトロ活用事例集

海外ビジネスにジェトロをこう使え



JETRO

株式会社奥谷金網製作所

兵庫県神戸市中央区相生町4丁目5-5
078-351-2531
<http://www.okutanikanaami.co.jp/>
資本金：1,000万円 従業員数：50名
代表取締役：奥谷 勝彦
事業内容：金網・パンチングメタルの加工・販売
海外ビジネス経験：なし 目的：輸出
対象国・地域：北米、欧州、アジア

1895（明治28）年創業の老舗メーカー。金網・パンチングメタル等の製造・販売を通じ、地球環境維持への貢献を目指している。2009年に発表した「スーパー・パンチング」は、従来の製品では困難であった原子力・石油化学・水処理プラント用フィルターとして使用されている。11年、近畿経済産業局から「KANSAIモノ作り元気企業100社」の認定を受けている。



スーパー・パンチング (SUPER PUNCHING)

■ ジェトロ活用のメリット

海外展示会への出展はジェトロブースを使用することがオススメ。

海外ミニ調査を行い、海外の同業者情報収集を行い、市場調査を行う。ジェトロメンバーズになることで格安で実施可能。

専門家の海外人脈を活用すれば、事業がさらにスムーズに進む。

■ 活用したサービス

輸出有望案件支援サービス 海外ミニ調査サービス 展示会出展支援サービス ジェトロメンバーズ

■ 老舗メーカー、ジェトロを活用し海外へ

同社は、神戸発祥の金網・パンチングメタルの老舗メーカー。日清戦争が終った1895年に創業し、以来120年にわたり兵庫県内で事業を継承してきた。

現在は数多くの海外展示会に出展し、米国及びドイツに事務所を置くグローバル企業であるが、創業より100年以上、取引先は国内企業に限定されていた。バブル崩壊や阪神淡路大震災などの影響による国内市場の縮小を受け、同社はインターネットの活用に乗り出した。自社ウェブサイトの更新を積極的に行うことで全国からの問い合わせが増加、それに伴い、徐々に海外市場開拓にも着手したいとの希望を持つようになる。

2008年、国際板金加工技術見本市ユーロブレッヒ（開催地 ドイツ・ハノーバー）を視察した同社は、自社と同規模の欧州メーカーが数多く出展していることに驚くと同時に「スーパー・パンチング」以上の品質の製品を製造できる企業がないことに気付く。

自社の製造技術と品質は世界トップクラスであると確信し、自信を持って海外で勝負できると考えた同社は、11年、ジェトロの専門家との面談機会を得たことから、ジェトロを活用し、海外ビジネスに挑戦することになった。

(株)奥谷金網製作所

専務取締役 奥谷 智彦 氏



まずはジェトロに相談し、自分の目で海外展示会を見ていただきたい。そしてまず最初に海外出展をする場合は、ジェトロブースを利用し、経験を積むことをお勧めしたい。

ジェトロ神戸

所員 平林 拓朗



同社は海外への出張及び海外展示会への出展を積極的に行って、成果を出された。積極的な姿勢こそが成功の鍵になったと思う。今後も同社技術の世界発信をお手伝いしていきたい。



IMTS2012 アメリカシカゴショー(ジェトロブース) 出展

■ 初挑戦から3年で海外2カ所に事務所を開設

12年3月、ジェトロの輸出有望案件支援企業に採択され、4月には、ドイツの国際産業技術見本市、ハノーバーメッセに初出展した。

ジェトロの専門家から海外展示会での広報の手法や外国企業へのプレゼン方法についてアドバイスを得た同社は多くの来場者を集めることに成功。有力バイヤーとの商談を実現させ、販売契約にもこぎつけた。

13年6月には海外での営業拠点としてシカゴに北米事務所を開設、14年3月には米国大手のパンチングメーカーと北米地域独占販売契約を締結した。

また、ジェトロの専門家から紹介を受けた販売代理と共に14年7月にはドイツ・デュッセルドルフにも事務所を開設、欧州市場開拓に着手する。展示会で知り合った北米企業の製品を同社が輸入し、それをオランダに輸出する商流を構築、年間売上は数千万にのぼる見込みである。

15年12月には欧州最大の同業メーカーと相互販売契約を結ぶ方向となり「スーパー・パンチング」を受注生産にて海外で販売を行う予定である。

初めて輸出に取り組んだ同社は、わずか3年で海外2カ所に共同事務所を開設し、大手メーカーと販売契約を結ぶことに成功した。同社の取り組みは、現在、神戸市教育委員会作成の中学校1年の理科の副読本でも紹介されている。